



大 祭 の 直 会 で の ひ と コ マ 。

大 祓 祭

今年も大祓祭が近づいてまいりました。
大祓祭は、我が国上代から

一定の制式として定められたのは、大宝令、ついで

心友会だより

第 3 7 3 号

昭和44年6月1日創刊
平成17年6月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-13-17
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教法出雲心友教会
編集兼発行人 佐藤 武彦
毎月8日1回発行
1部150円 (送料共)
年間購読料1,800円

延喜式で、式の祝詞式のうちに、六月、十二月の大祓詞が載せられています。

六月は、五行でいうと、夏と秋の交替期にあたつて

昔から不思議な事には、この時期にはどういいうわけか疫病や水害が多く、対立関係にある二つの季節が打ち合うからだとされています。

また、人の身に振りかかる災いや穢れは、区切りのよいところで祓う必要もありました。

そのために行われるのが六月晦日の大祓祭で、特にこの大祓祭を夏越の祓と呼んでいます。(ちなみに出雲心友教会では、最終日曜の二十六日です。)

大祓詞は、約九百文字からなり、この中には我が国体のあり方、天皇統治のあり方及び国民の罪を祓い清めて、正しい人間になるた

めにはどうすればよいか、祓いの方が皇祖神の遺訓として、おごそかに宣言されています。

ひとつ口に祓いの方法と言っても様々な種類があります。水をもって心身を清める

も当然、この言霊による大祓祭を行っています。人間は、日常生活において、知らず知らずのうちに

その罪穢れを自分自身が発する言葉、すなわち言霊で祓い清めるのです。

私たちは、一人の例外もなく、生まれた時には清らかな穢れのない魂を持っています。

しかし、先程も述べましたが、人間は毎日を生かされていくうちに、知らず知らず人に傷つけたり、気がとがめることを言ったり

したりしているものです。そうした毎日の行動や言動によって、生まれた時の清い、真白な魂が穢れて、灰色になり、ひどい場合には真黒になってしまうのです。

この穢れた魂を生まれ時の真白な、清らかな状態にもどす為に、大祓祭が行われるのです。

さて、大祓詞の原形ですが、天罪と国罪とを祓う起源は上代にあり、日本書紀によりますと、スサノオノ

古語捨遣でも天罪・国罪は、中臣祓詞にあることからも、上代から大祓のあった事を裏つけています。

平安時代の大祓は、国中の穢れを祓い清める行事でした。明治維新後の一八七一年には、一時的に中絶していた大祓の旧儀を再興して、

の代表を召して行われ、全国の神社においても氏子の代表を集めて執行しています。

今年の大祓祭は六月二十六日(日)の二時からです。出雲心友教会の大祓祭は

参列された方全員が、大祓詞を三回奏上し、その時発せられた言葉のもつ音霊、すなわち言霊によって、自分の魂を浄化し、更に切麻

こうして半年ごとに、自分自身の穢れ、言葉の罪や心の罪などを祓って、清浄な魂になることによって、新たな半年を迎えることが出来るのです。

以上のことからもおわかりの様に、半年間の罪穢れは、自分自身で祓わせて頂くのが本来の姿ではありませんが、当日おみえになれない方の為に人形をお送り致しますので、一人につき一枚使用して、中央に氏名、

左側に生年月日をご記入の上、ご返送下さいませ。尚、当日おみえになる方の人形は必要ありませんので、ご注意下さい。